

尾上の郷だより

第6号

平成22年8月 発行

発行責任者
：渡部博也

編集
：マナー委員会



尾上の郷は、「ほんまもん」の介護を追求し、地域社会に貢献することを経営の理念とします。

尾上の郷

開設三周年を迎えて



尾上の郷 施設長
渡部 博也

梅雨明けとともにまた暑い夏がやって来ましたが、皆様、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、尾上の郷は平成十九年七月に開設し、ちょうど三年が経過しました。地域の皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝しております。

お陰様で尾上の郷の小規模多機能施設、デイサービス、ヘルパーステーション、居宅支援事業所は地域の介護サービス拠点として、皆様に支えられ順調に運営することが出来ています。

小規模多機能施設は平成十八年に制度化された新しいサービスですが、その地域密着性とサービス形態の良さが地域に浸透し、皆様からの問い合わせが少しずつ増えて来ております。

この度、尾上の郷は加古川市が募集した地域密着型介護老人福祉施設の建設に応募し、来年の開業を目指して準備を進めております。

全てが順調に進めば来年の夏に開設できる予定です。その内容は地域密着型の特養29床とショートステイ10床で、全室個室のユニット型です。

現在の尾上の郷の東側に隣接して建設します。尾上町は市内でも人口が多い町ですが、これまで入居可能な福祉施設がなく、施設開設を要望する声が多くありました。尾上の郷がこれを実現し、微力ながら地域に貢献できることを喜んでいきます。

職員一同、全力で取り組んでまいります。地域の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

尾上の郷

副施設長就任挨拶



尾上の郷 副施設長
母利 政範

平素は尾上の郷の運営にあたり格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、この度六月十六日付けをもちまして尾上の郷の副施設長に就任いたしました。こちらへ参ります前は、みどり園の施設部長として施設運営に携わってまいりました。こちらの利用者様の中にも、みどり園のショートステイでお目にかかった方もおられますが、ほとんどの利用者様については、初めてお目にかかります。若輩者ではございますが、地域に根ざしたより良い施設運営を目指し、微力ながら皆様と関わらせていただきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

第七回運営推進委員会

四月二十一日(水)に開催し、小規模多機能の運営状況を報告しました。会議はなごやかな雰囲気の内にと終了しました。皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望を十分に取り入れ、地域に開かれた施設運営に生かして行きます。

ご出席者

- 尾上町前町内会長 大篠様
- 尾上町老人クラブ連合会会長 神戸様
- 尾上町池田民生児童委員 磯辺様
- ご家族代表 古川様ご家族
- 大西様ご家族

尾上の郷 渡部施設長
北井管理者



尾上の郷

副部長就任挨拶



尾上の郷 副部長
魚橋 泰輔

長年デイサービス業務の方に携って参りましたが、この度副部長として尾上の郷全体を見させていただくこととなりました。今後より一層皆様に安心してご利用頂ける施設を目指し、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

防災避難訓練を実施しました

今年三月、札幌のグループホームで火災事故があり七人の入居者が亡くなりました。このような事故を絶対に起こしてはならないという決意の下、東消防署の指導を受け四月二十日に訓練を実施しました。

東消防署の高橋さん、竹山さんの熱心な指導を受けながら訓練に取り組みました。主に利用者の避難誘導訓練と通報訓練、初期消火訓練です。今後も継続的に訓練に取り組んで行きます。



初期消火訓練



高橋さんに軽々と担がれる



ベッドからおんぶして避難